

第2期琴浦町まち・ひと・くらし創生戦略に基づく取組みの成果

琴浦町企画政策課

令和2年3月に策定した「第2期琴浦町まち・ひと・くらし創生戦略」に基づき、地方創生の実現に向けて取り組みましたので、その1年目（令和2年度）の成果を報告します。

【総括】

- 第2期総合戦略で掲げた取組みは、新型コロナウイルスの感染拡大により、一部取組みについて遅れが見られるものの、概ね順調に進捗しています。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響は、特に「観光交流」「関係定着」といった町外又は他者との往来・接触が発生する分野において遅れが見られます。
- 一方で、「子育て教育」「健康活力」「経済産業」の分野については、多様な働き方の推進、ICT化の推進、運動習慣の定着等の取組みにより概ね順調に進捗しています。
- 今後は、新型コロナウイルス感染拡大の影響も視野に入れながら、ポストコロナ・ウィズコロナに向けた取組みの強化・見直しを進めていく必要があります。

(1) 数値目標の達成状況

基本目標	数値目標	単位	基準値(R1)	実績(R2)	目標値(R6)	備考
子育て教育	合計特殊出生率 (R1からR5年までの平均値)	人	1.73 (H29実績)	1.73	1.80	
健康活力	介護を要する期間 (平均寿命－健康寿命) の短縮 男性0.5年短縮	年	2.1 (R1実績)	2	1.6	増加はマイナス評価
	介護を要する期間 (平均寿命－健康寿命) の短縮 女性0.5年短縮	年	4.4 (R1実績)	4.4	3.9	
経済産業	町内企業就職者数 (R2～R6年の累計)	人	1,135 (H27～R1実績)	189	1,135	
	農林水産業の新規就業者数 (R2～R6年の累計)	人	34 (H27～R1実績)	7	30	
観光交流	観光入込客数	人	683,000 (R1実績)	578,554	900,000	
	観光分野における新規事業等での雇用創出数 (R2～R6年度の累計)	人	—	2	10	
関係定着	人口社会減の人数 (R2～R6年の累計)	人	307人 (H27～R1の累計)	135	200	
	IJUターン者数の人数	人	703人 (H26～H30の累計)	150	750	

第2期琴浦町まち・ひと・くらし創生戦略 数値目標による検証

基本目標		数値目標	単位	基準値(R1)	値	R2	R6(最終)	R2達成度	R2検証	関連する具体的な施策	備考	評価
子育て教育	安心して生み育てることができる環境を守り、ふるさとを誇りに思う教育を進める	合計特殊出生率 (R1からR5年までの平均値)	人	1.73 (H29実績)	目標	1.80	1.80	96.1%	○	妊娠・出産・子育てを支える環境づくり		新型コロナウイルスの影響により、図書館や総合運動公園といった施設の利用者は伸び悩んだ。 出生数は年によって波があるため、目標値には届かなかったが、妊娠期からの支援体制、不妊治療・検診・育児等に掛かる費用助成等を行い、概ね達成できている。
				実績	1.73 (R1)							
健康活力	全世代が活躍する健康寿命日本一のまちを目指す	介護を要する期間 (平均寿命-健康寿命) の短縮 男性0.5年短縮	年	2.1 (R1実績)	目標	2	1.6	100.0%	◎	新時代の健康づくり 運動・食生活改善・社会参加の推進	増加は マイナス 評価	特定健診の受診率が新型コロナウイルスの影響で伸び悩んだ。 介護予防については、理学療法士の配置やコンディショニングトレーナーによる運動指導等により、概ね達成できている。
				実績	2							
		介護を要する期間 (平均寿命-健康寿命) の短縮 女性0.5年短縮	年	4.4 (R1実績)	目標	4.3	3.9	102.3%	○	新時代の健康づくり 運動・食生活改善・社会参加の推進		
				実績	4.4							
経済産業	産業振興を図り、持続可能な地域経済の好循環を実現する	町内企業就職者数 (R2～R6年の累計)	人	1,135 (H27～R1実績)	目標	227	1,135	83.3%	○	多様な働き方・雇用対策の推進	新型コロナウイルスの影響により、県外での商談会やセミナー等については伸び悩んだ。 一方、スマート農業やワーケーションの推進、各種応援事業の実施により概ね達成できている。	
				実績	189							
		農林水産業の新規就業者数 (R2～R6の累計)	人	34 (H27～R1実績)	目標	6	30	116.7%	◎	農林水産分野への未来技術の活用と担い手、新規就業者の育成		
				実績	7							
観光交流	人を地域の中に呼び込み観光を展開し、町産業全体の活性化につなげる	観光入込客数	人	683,000 (R1実績)	目標	726,400	900,000	79.6%	△	道の駅を核として町内周遊を促進	新型コロナウイルスの影響により、観光関連事業については軒並み伸び悩んだが、概ね達成できている。 また、一向平キャンプ場については、サウナブームやワーケーションの影響もあり、来場者が増えている。	
				実績	578,554							
		観光分野における新規事業等での雇用創出数 (R2～R6年度の累計)	人	—	目標	2	10	100.0%	◎	琴浦の恵みを活かした観光の展開		
				実績	2							
関係定着	暮らし続けることができるまち、そして選ばれるまちをつくる	人口社会減の人数 (R2～R6年の累計)	人	307人 (H27～R1の累計)	目標	-	200	-	-	暮らし続けることのできる地域づくり	新型コロナウイルスの影響により県外でのイベント等の実施ができなかった。 一方、地方移住の流れもあり、空き家を活用した移住者や、企業版ふるさと納税の企業数は増えており、概ね達成できている。	
				実績	135							
		IJUターン者数の人数	人	703人 (H26～H30の累計)	目標	150	750	76.0%	△	移住・定住の促進		
				実績	114							

第2期琴浦町まち・ひと・くらし創生戦略 重点業績評価指標 (KPI) による検証

基本目標① 【子育て・教育】安心して生み育てることができる環境を守り、ふるさとを誇りに思う教育を進める

施策	KPI	目標値	基準値	値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R2目標比較	R2目標達成度	R2検証	R2年度の事業概要、(未)達成理由、R3以降取組	担当課		
①妊娠・出産・子育てを支える環境づくり	育児に対する強いストレスや悩みを感じる人の割合	8.20%	11.8%(H30)	目標	11.0	10.2	9.4	8.8	8.2	△ 1.5	88.0%	○	①妊娠期から地区担当保健師が訪問や相談に継続的に応じサポート。産後健診や産後サポート事業、一時保育による心身のケアや休息確保、産後ケア事業の利用料無償化。各種母子保健事業での臨床心理士による子育て相談。 ②育児の支援者不足。コロナ禍による不安、外出自粛、イベント自粛、子育て支援センターの利用制限などの影響か？ ③産後ケア事業の委託先拡充と訪問型の実施	子育て応援課		
				実績	12.5											
	出生数(R1～R5までの累計数)	575人	595人	目標	115	230	345	460	575	△ 2.0	98.3%	○			①不妊治療費等助成事業や健診や育児にかかる各種助成での経済的支援。(妊婦・産後健診費用助成、新生児支援交付金、予防接種費助成、チャイルドシート購入費助成、乳幼児家庭保育支援事業等) ②目標値には近づいている。出生数は年ごとで波があり、一概には言えないが、人口減少や若年層の減少などの影響もあると考える。 ③不育症治療費助成の実施	子育て応援課
				実績	113 (R1)											
②安心して働くための環境づくり	この地域で子育てをしたいひとの割合	74.00%	68.90%	目標	70.0	71.0	72.0	73.0	74.0	3.1	104.4%	○	①第2子以降の保育料無償化。病児・病後児保育。ショートステイ・トワイライトステイ。 ③上記の継続実施	子育て応援課		
				実績	73.1											
	ファミリーサポートセンター提供会員登録者の人数	80人	69人	目標	72	74	76	78	80	1.0	101.4%	○			①社協ボランティアや民生委員等へファミサポの紹介と提供会員への登録を依頼。町報での広報。 ③広報継続	子育て応援課
				実績	73											
③「誰一人取り残さない」質の高い教育の実現	教員が教科指導でICT(情報端末、大型提示装置、デジタル教科書)を日常的に活用する割合	100%	-	目標	30	55	75	100	100	68.0	326.7%	○	①GIGAスクール構想実現事業により、児童生徒1人1台の端末と校内ネットワーク環境を整備。普通教室にプロジェクターを設置することにより、日常的にICT機器を使用する環境を整備するとともに、活用に向けて教職員研修会や実証事件等を実施した。	教育総務課		
				実績	98											
	実用英語技能検定3級レベル(CEFR A1)の中学3年生の割合	70%	56%	目標	56.0	60.0	65.0	70.0	70.0	△ 20.4	63.6%	△			①中学生英語検定料補助金事業。英検3級受検者への受検料半額補助を実施。英検受検料補助金の申請件数15件	教育総務課
				実績	35.6											
④ふるさとを誇りに思う教育の推進	1年間に1回以上地域行事に参加している中学生の割合	60%(R6)	48.8%(R1)	目標	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0	△ 5.0	90.4%	○	①ふるさとに関心を持つきっかけづくりとして主に小学生を対象に地域の歴史、文化を体験学習する琴浦こども塾を実施した。 ②コロナ禍により地域行事が中止となり地域行事に関わる機会が激減した。 ③今後も地域の方を先生にした事業を実施し、地域の人や事柄に関心を持つ機会を増やしていく。	社会教育課		
				実績	47											

	コミュニティスクールの取 り組み校数	町内すべての 小・中学校(R6)	—	目標	-	-	7	7	7	-	-	-	協議会の設置計画（令和4年度2校、令和5年 度5校）を定めた。関係者の研修会への参加 を予定していたが、新型コロナウイルス感 染症の影響により中止。	教育総務課
				実績	-									
⑤地域を支える 人材の育成と環 境整備	図書館本館の年間利用者数	60,000人(R6)	46,000人(H30)	目標	45,000	50,000	55,000	60,000	60,000	△ 11,551.0	74.3%	△	①感染症対策を行いながらイベントを実施。 書架の鮮度を上げるため除籍を推進。 ・ビジネス支援と電子データベース活用を 目的とした農業ミニ講座を県立図書館と共 同で開催 ・まちなか図書館を町内2箇所を設置 ②コロナ禍による利用制限の実施のため ③引き続き感染症対策を行いながら、イベン トを実施していく。利便性向上のため、除 籍・書架の配置換えを実施。感染症対策と して、ICタグシステム・自動貸出機の導入。	社会教育課
				実績	33,449									
	東伯総合公園の年間利用者 数	60,000人(R6)	56,629人(H30)	目標	57,000	57,000	57,000	58,000	60,000	△ 7,917.0	86.1%	○	①民間資金活用（PFI）の準備に向けた利用 状況調査等を実施。コロナ禍により合宿施 設整備ができなかったが、スポーツ推進拠 点を目的に体幹教室（年間延べ4,018人）や トレーニングルーム（年間15,777人）推進を 実施した。 ニーズのあるヨガ教室を新規に開始 生涯スポーツとして、エンジョイスポーツに ポッチャを導入 ②コロナ禍による施設の利用制限の実施や 活動自粛のため ③PFI：実施方針、要求水準書の作成 各種教室：感染症対策を継続して実施 運動習慣定着：体力測定を実施し、個人の 取組成果を可視化し、継続を促すとともに 効果事例をPRする。	社会教育課
				実績	49,083									

基本目標② 【健康・活力】全世代が活躍する健康寿命日本一のまちを目指す

施策	KPI	目標値	基準値	値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R2目標比較	R2目標達成度	R2検証	R2年度の事業概要、(未)達成理由、R3以降取組	担当課
①新時代の健康づくり	健康寿命の数値（男性）	78.72歳(R6)	77.72歳(R1)	目標	77.92	78.12	78.32	78.52	78.72	△ 0.2	99.8%	○	①介護と保健の一体化事業の実施。運動指導DVDを作成しCATVで放映のほかサークル等に配付 ②健診受診率減少に伴う保健指導等実施者数の減 ③すこやか健康課に理学療法士を配置。フレイル予防のためのデータ分析を行い、効果的な予防事業を実施。健康経営モデル事業所による健康づくり事業実施	すこやか健康課
				実績	77.76									
	健康寿命の数値（女性）	83.87歳(R6)	82.87歳(R1)	目標	83.07	83.27	83.47	83.67	83.87	△ 0.3	99.7%	○	同上	すこやか健康課
				実績	82.81									
	国保特定健診受診率	60.0%(R5)	37.9%(H30)	目標	47.0	52.0	57.0	60.0	60.0	△ 12.2	74.0%	△	①協会けんぽと共同による受診勧奨チラシ、冊子の作成及び配付、個別受診勧奨通知の送付 ②県全体的にコロナ禍による受診控え等があった。 ③個人特性に応じた受診勧奨はがきを個人宛に送付	すこやか健康課
				実績	34.8									
②運動・食生活改善・社会参加の推進	運動習慣の定着割合	60.0%(R6)	46.1%(R1)	目標	48.8	51.6	54.4	57.2	60.0	0.0	100.0%	○	①コンディショニングコーディネーターによる各種運動指導の実施、教室等における運動推進、運動指導DVDを作成しCATVで放映のほかサークル等に配付 ②各種事業において啓発を行った。 ③まちの保健室の全町展開	すこやか健康課
				実績	48.8									
	65歳以上の地域での活動（月1回以上）の参加率	50.0%(R5)	30.4%(H29)	目標	40.0	-	-	50.0	-	△ 5.2	87.0%	○	介護予防サークル、地域カフェ、シルバー人材センターなど地域での活動を支援。	すこやか健康課
				実績	34.8									

基本目標③ 【経済・産業】産業振興を図り、持続可能な地域経済の好循環を実現する

施策	KPI	目標値	基準値	値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R2目標比較	R2目標達成度	R2検証	R2年度の事業概要、(未)達成理由、R3以降取組	担当課
①起業・創業の推進	新規起業件数の累計	10件(R2~R6)	8件(H27~R1)	目標	2	4	6	8	10	1.0	150.0%	○	①新事業創出応援補助金を創設 ②商工会等を通じ広く周知を図った。 ③琴浦でスタート！応援補助金を周知し、起業・創業を促進する。	商工観光課
				実績	3									
②多様な働き方・雇用対策の推進	ワーケーションのマッチング件数の累計	10件(R2~R6)	—	目標	2	4	6	8	10	8.0	500.0%	○		商工観光課 企画政策課
				実績	10									
	「しごとプラザ琴浦」利用による町民の年間就職者数	270人(R6)	221人(R1)	目標	230	240	250	260	270	△ 52.0	77.4%	△	①就職応援セミナー（3回）及び介護職限定合同求人説明会の開催 ②コロナ禍における利用者数の減少 ③求職者セミナー開催と併せて地元企業のPRの場を提供し、地元就職に繋げる。	商工観光課
				実績	178									
③琴浦ブランド化の推進と販路拡大	主要品目の年間販売額（梨、プロッコリー、ミニトマト、白ネギ、繁殖和牛、酪農、ギンザケ）	49億円 (R6)	43.8億円 (H30)	目標	45	46	47	48	49	△ 0.7	98.4%	○	①PRについては、ことうら食の魅力発信プロジェクトやふるさと納税で実施。 ②販売戦略はJAなど各事業者によるもの ③引き続きPRを行う。	農林水産課
				実績	44.3									
	県外商談会でのことうら商品新規契約数の累計	25件(R2~R6)	5件(R1)	目標	5	10	15	20	25	△ 2.0	60.0%	△	①未実施 ②コロナ禍における商談会等の開催中止 ③町内企業の新商品開発支援	商工観光課
				実績	3									
④地域内の経済循環の促進	地域経済循環率(RESAS値)	80.0%(R6)	75.4%(H25)	目標	-	-	-	-	80.0	-	-	-	①地域内経済循環の促進を図るため、食料品分野における地域外へ流出しているものを特定する調査を実施 ②- ③BUYコトウラ運動の取り組みを踏まえ、町内スーパー等の地元産品の仕入拡大に努める。	商工観光課
				実績	-									
⑤農林水産分野への未来技術の活用と担い手、新規就業者の育成	スマート農業に新たに取り組む経営体数の累計	5件(R2~R6)	—	目標	2	3	4	5	5	4.0	300.0%	○	①施設園芸（ミニトマト）でスマート農業実証事業を実施中。その他の分野で、スマート田植え機、ドローン（農業）、牛群管理システムの導入実績がある。 ②各メーカーよりスマート技術を搭載した製品化が進んできた。 ③スマート農業実証事業において、スマート機器の効果等を引き続き検証を行う。	農林水産課
				実績	6									
	農業研修生宿泊施設宿泊者数の累計	14人(R2~R6)	5人(R1)	目標	4	5	8	11	14	△ 1.0	75.0%	△	①地域おこし協力隊制度を活用し、施設栽培（ミニトマト）による農業研修を行った。 ②研修生の中途退任によるもの ③引き続き地域おこし協力隊制度を活用して、募集を行っていく。	農林水産課
				実績	3									
	認定農業者数	170人(R6)	178人(R1)	目標	178	175	175	170	170	△ 6.0	96.6%	○	①農業経営の発展を目指す認定農業者の支援を行った。 ②高齢化などにより農業経営の縮小 ③農業経営改善計画指導会を開催し、認定農業者の確保に努める。	農林水産課
				実績	172									

基本目標④ 【観光・交流】人を地域の中に呼び込む観光を展開し、町産業全体の活性化につなげる

施策	KPI	目標値	基準値	値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R2目標比較	R2目標達成度	R2検証	R2年度の事業概要、(未)達成理由、R3以降取組	担当課
①道の駅を“核”として町内周遊を促進	道の駅以外の観光拠点の年間入込客数	156,000人(R6)	106,000人(R1)	目標	116,000	126,000	136,000	146,000	156,000	△ 49,227.0	57.6%	△	①観光協会ホームページのリニューアルや新たな観光パンフレットを作成した。 ②コロナ禍に伴う観光入込客数の減少 ③地域おこし協力隊（観光情報発信担当）を中心とした情報発信強化や体験型観光商品の造成、観光協会が実施するテレビ番組・CMによる町の魅力の発信を行う。	商工観光課
				実績	66,773									
	観光案内所の年間入込客数	52,000人(R6)	27,000人(R1)	目標	32,000	37,000	42,000	47,000	52,000	△ 14,614.0	54.3%	△	①道の駅琴の浦の観光窓口の情報発信力を強化するため、次のことを実施・設置した。 ・観光案内所の装飾・まちなびカード ・デジタルサイネージ・タッチパネルPC ・動画作成と発信・翻訳機 ②コロナ禍に伴う観光入込客数の減少 ③物産館ことうらリニューアル改修工事の完了、指定管理者との活性化策の推進、物産館ことうらのリニューアルオープンイベントやHP作成、観光看板整備等を行う。	商工観光課
				実績	17,386									
②琴浦ブランドの再構築による情報発信の強化	観光ホームページの年間アクセス件数	300,000件(R6)	-	目標	-	150,000	200,000	250,000	300,000	-	-	-	①観光協会ホームページのリニューアルや新たな観光パンフレットを作成した。 ②- ③観光情報発信にかかる地域おこし協力隊1名を9月から雇用したことに伴い、さらなる情報発信の強化を図る。	商工観光課
				実績	-									
③琴浦の恵みを活かした観光の展開	体験型観光プログラムの新規開発件数の累計	10件(R2～R6)	-	目標	2	4	6	8	10	△ 1.0	50.0%	△	①ふるさと納税体験型観光商品の造成について、観光関連事業者へ営業活動を行った。 ②コロナ禍に伴い事業者が体験型観光造成について消極的となったため。 ③観光戦略推進会議でのワークショップや商工会等を通じてふるさと納税体験型観光商品の造成PRを行う。	商工観光課
				実績	1									
	一向平キャンプ場の年間利用件数	842件(R6)	442件(R1)	目標	522	602	682	762	842	139.0	126.6%	○	①一向平キャンプ場リニューアル工事・サウナ設置、指定管理者の変更、ワーケーション整備を行った。 ②指定管理者変更等に伴う情報発信の強化のため。 ③惑星コトウラフェスの開催、森林体験交流センター等簡易宿泊所の整備検討、サウナを通じた観光振興を図る。	商工観光課
				実績	661									

基本目標⑤ 【関係・定着】暮らし続けることができるまち、そして選ばれるまちをつくる

施策	KPI	目標値	基準値	値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R2目標比較	R2目標達成度	R2検証	R2年度の事業概要、(未)達成理由、R3以降取組	担当課
①暮らし続けることのできる地域づくり	地域で新たに課題解決に取り組んだ件数の累計	9件(R2～R6)	—	目標	2	4	6	8	9	△ 1.0	50.0%	△	地域づくり補助金1件（古布庄地区）	企画政策課
				実績	1									
	共助交通に取り組む団体数の累計	3件(R2～R6)	—	目標	1	1	2	2	3	2.0	300.0%	○		企画政策課
				実績	3									
②関係人口の創出・拡大	ふるさと住民票の登録者数	250人(R2～R6)	—	目標	100	50	40	30	30	△ 100.0	0.0%	△		企画政策課
				実績	0									
	ふるさと納税額	5.0億円(R6)	3.8億円(R1)	目標	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	△ 0.7	82.5%	○	①寄付受付サイトの追加（3→5）、受注発注の一本化 ②GOTOトラベルの影響により、年末に松葉ガニが出品中止となったため ③ふるさと納税タスクフォースを組織し、12月までは短期で効果の出るSEO対策重点的に実施。次年度以降の取り組みについては、鳥銀およびコンサル（口幸ラボ）と検討中。	総務課
				実績	3.3									
	企業版ふるさと納税の企業数	5件(R2～R6)	—	目標	1	2	3	4	5	3.0	400.0%	○	①地域再生計画の認定を受け、HP等により周知 ②熱中小学校事業における担当者および事務局の営業努力 ③制度と事業の紹介チラシの作成し、琴浦町にゆかりのある事業者へ送付を行う	総務課
				実績	4									
③移住・定住の促進	空き家を活用したIJUターン者数	35人(R2～R6)	22人(H26～H30)	目標	7	14	21	28	35	6.0	185.7%	○		企画政策課
				実績	13									
	IJUターン者に対する奨学金返済支援制度の利用者数の累計	50人(R2～R6)	—	目標	10	20	30	40	50	△ 9.0	10.0%	△	①琴浦町未来人材育成奨学金返還事業。Uターン学生に対して、奨学金返還金の半額補助を実施した。申請件数1件	教育総務課
				実績	1									

【担当課】商工観光課

No.	交付金対象事業名称	事業開始年度	事業終了年度	総合戦略の位置づけ			
2	2次交通整備によるFIT受入対応実験事業	R28	R2	基本目標4【観光・交流】 人を地域の中に呼び込む観光を展開し、町産業全体の活性化につなげる			
地域再生計画		計画開始年度	計画終了年度	事業内容			
鳥取中部観光地域づくり推進計画		R28	R2	(広域観光連携推進事業) ・おもてなし・受入環境整備事業・プロモーション推進事業 ・情報発信事業・温泉地イメージ戦略事業 ・商品開発販売事業・誘客戦略事業(鳥取中部観光推進機構負担金) ・マーケティング、プロモーションの専門職員の人件費支援			
事業計画		申請額		執行額		R2年度の実施状況(3月末)	
		事業費(千円)	交付金(千円)	事業費(千円)	交付金(千円)		
1	《広域観光連携推進事業負担金》	3,884	1,942	3,884	1,942	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし・受入環境整備事業・プロモーション推進事業 ・情報発信事業・温泉地イメージ戦略事業 ・商品開発販売事業・誘客戦略事業(鳥取中部観光推進機構負担金) ・マーケティング、プロモーションの専門職員の人件費支援 	
重要業績評価指標(KPI)		最終目標値	R2年度目標値	R2年度実績値	目標達成状況(%)	検証(◎、○、△、×)	備考
1	年間観光入込客数	2,700千人	2,700千人	562千人	20.8%	△	
2	年間観光宿泊客数	634千人	634千人	-161千人	-25.4%	△	
3	年間外国人宿泊客数	38千人	38千人	-21千人	-55.3%	△	
4							
KPI未達成の場合の理由				R3年度の事業計画			
令和2年度はコロナ禍にあり、旅行者の移動が困難な時期が続いた。 このため、観光入込客数が伸び悩んだもの。				(広域観光連携推進事業) ・おもてなし・受入環境整備事業・プロモーション推進事業 ・情報発信事業・温泉地イメージ戦略事業 ・商品開発販売事業・誘客戦略事業(鳥取中部観光推進機構負担金) ・マーケティング、プロモーションの専門職員の人件費支援			

【担当課】 商工観光課

No.	交付金対象事業名称	事業開始年度	事業終了年度	総合戦略の位置づけ			
3	名峰「大山」とともに生きる・鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクト	R28	R2	基本目標4【観光・交流】 人を地域の中に呼び込む観光を展開し、町産業全体の活性化につなげる			
地域再生計画		計画開始年度	計画終了年度	事業内容			
名峰「大山」とともに生きる・鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクト		R28	R2	・継続的な誘客の創出 ・PR・情報発信			
事業計画		申請額		執行額		R2年度の実施状況(3月末)	
		事業費(千円)	交付金(千円)	事業費(千円)	交付金(千円)		
1	「大山開山1300年祭ウォーキング・トレッキング活用事業」	2,756	1,378	1,788	894	1300年祭から進化した広域観光連携組織の構築と稼ぐ観光産業に向けた取組を行った。 ●主な事業 ・1300年祭レガシー事業 ・大山紅葉満喫ウォーク代替PR事業	
重要業績評価指標(KPI)		最終目標値	R2年度目標値	R2年度実績値	目標達成状況(%)	検証(◎、○、△、×)	備考
1	観光入込客数	11,140千人	11,140千人	-4,393千人	-39.4%	△	
2	外国人宿泊者数	162千人	162千人	-150千人	-92.6%	△	
3							
4							
KPI未達成の場合の理由				R3年度の事業計画			
令和2年度はコロナ禍にあり、旅行者の移動が困難な時期が続いた。このため、観光入込客数が伸び悩んだもの。				大山・日野川圏域のブランド化による「稼ぐ地域」の形成を通じた持続可能な観光地域づくりを目指して、広域・低密度・収益型ツーリズムを推進する。 1 新ブランド創出・高度化事業 2 広域連携推進事業			

【担当課】 企画政策課

No.	交付金対象事業名称	事業開始年度	事業終了年度	総合戦略の位置づけ			
4	人材育成（「大人の社会塾」事業）による地域再生計画	R28	R2	基本目標1【子育て・教育】 安心して生み育てることができる環境を守り、ふるさとを誇りに思う教育を進める			
地域再生計画		計画開始年度	計画終了年度	事業内容			
人材育成（「大人の社会塾」事業）による地域再生計画		R28	R2	とっとり琴浦熱中小学校の第4期の企画運営等に要する経費を支援する。			
事業計画		申請額		執行額		R2年度の実施状況(3月末)	
		事業費(千円)	交付金(千円)	事業費(千円)	交付金(千円)		
1	「熱中小学校の企画運営事業」	2,118	1,059	2,116	1,058	4期、5期の授業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため、4月～9月の授業を延期した。この間は体験入学として地元講師や地域の魅力再発見に努め、10月～3月は延期した第4期授業を実施。オンライン配信を活用し、都市部からの生徒獲得など関係人口拡大の取組を行った。	
重要業績評価指標(KPI)		最終目標値	R2年度目標値	R2年度実績値	目標達成状況(%)	検証(◎、○、△、×)	備考
1	連携先全体の交流人口	10,000人	2,500人	522人（琴浦分） 連携全体は集計中	-	◎	体験入学182人＋講師5人 第4期323人＋講師12人
2	熱中小学校地域特産品等の売上高	104,000千円	65,000千円	0円（琴浦分） 連携全体は集計中	-	×	
3	「熱中ブランド」特産品開発	9件	3件	-（KPI除外） 連携全体は集計中	-	-	
4		全体目標値	全体目標値				
KPI未達成の場合の理由				R3年度の事業計画			
<p>連携先全体でのKPIである交流人口最終目標値10,000人については、2019年度末の累計値が27,445人であり、達成している。</p> <p>2020年度からは、売上不振により熱中通販より撤退した。ECサイト委託業者に運営を依存しており、結果として魅力的な商品、リピーターの獲得、サイト管理が上手くいかなかったことが要因と考えている。</p>				<p>2021年度は地方創生推進交付金事業ではなく、企業版ふるさと納税を財源とした町補助金での運営事業へ転換する。</p> <p>引き続き、熱中小学校の授業を実施し、地域の人材育成につなげる。また、オンラインでの授業配信等を通じて、関係人口（インターンシップ事業による外部人材活用、ワーケーション）拡大に取り組む。</p>			

【担当課】農林水産課

No.	交付金対象事業名称	事業開始年度	事業終了年度	総合戦略の位置づけ			
5	鳥取県養殖技術創出事業	H30	R2	基本目標3【経済・産業】 産業振興を図り、持続可能な地域経済の好循環を実現する			
地域再生計画		計画開始年度	計画終了年度	事業内容			
鳥取県養殖技術創出事業		H30	R2	養殖生産量及び養殖生産金額の増加に資する養殖施設を整備することにより、当該事業者による県内への技術普及、新規参入者への技術指導を行うとともに、港内養殖の可能性を探るため、短期養殖試験及び販売試験を行う。			
事業計画		申請額		執行額		R2年度の実施状況(3月末)	
		事業費(千円)	交付金(千円)	事業費(千円)	交付金(千円)		
1	≪鳥取県養殖技術創出事業≫	47	23	17	8	新型コロナウイルス感染症等の影響により新規雇用できないことに伴う研修中止による事業費の減額	
重要業績評価指標(KPI)		最終目標値	R2年度目標値	R2年度実績値	目標達成状況(%)	検証(◎、○、△、×)	備考
1	養殖業への新規参入企業数	6社	1社	0社	0.0%	△	
2	養殖魚の生産量	1,669トン	240トン	521トン	217.1%	◎	
3	養殖魚の出荷額	1,149,700千円	192,000千円	111,728千円	58.2%	△	
4							
KPI未達成の場合の理由				R3年度の事業計画			
<ul style="list-style-type: none"> 陸上養殖に適した地下海水の確保が困難だった。 引き続き、養殖適地を探索するため、地下海水の探索を実施する。 コロナによる影響もあり、養殖魚の単価が安かった。 輸出なども念頭に入れながら単価向上に向けた取り組みを実施する。 				令和2年度の実績をもとに、令和3年度の計画を策定。			

【担当課】 商工観光課

No.	交付金対象事業名称	事業開始年度	事業終了年度	総合戦略の位置づけ			
6	コトウラ観光産業化プロジェクト	R1	R3	基本目標4【観光・交流】 人を地域の中に呼び込む観光を展開し、町産業全体の活性化につなげる			
地域再生計画		計画開始年度	計画終了年度	事業内容			
コトウラ観光産業化プロジェクト		R1	R3	本事業は、観光の戦略を練り直し、観光による地域産業全体の活性化を図るため、観光情報発信の強化など各種事業を実施する。			
事業計画		申請額		執行額		R2年度の実施状況(3月末)	
		事業費(千円)	交付金(千円)	事業費(千円)	交付金(千円)		
1	《コトウラ観光産業化プロジェクト》	42,102	21,051	19,610	9,805	観光マーケティングインフラ構築委託業務 観光情報発信機能強化事業委託料 観光商品開発委託料 インバウンド対策委託料 観光案内所観光情報発信	
重要業績評価指標(KPI)		最終目標値	R2年度目標値	R2年度実績値	目標達成状況(%)	検証(◎、○、△、×)	備考
1	道の駅以外の観光入込客増加数	60,000人	30,000人	△ 32,253	-107.5%	△	
2	道の駅「琴の浦」のレジカウンタ増加数	120,000人	60,000人	△ 49,814	-83.0%	△	
3	観光ガイドによる案内者増加数	1,500人	750人	△ 6,336	-844.8%	△	
4	観光関連雇用創出者増加数	10人	5人	0	0.0%	△	
KPI未達成の場合の理由				R3年度の事業計画			
令和2年度はコロナ禍にあり、旅行者の移動が困難な時期が続いた。このため、観光入込客数が伸び悩んだもの。				本事業は、観光の戦略を練り直し、観光による地域産業全体の活性化を図るため、観光情報発信の強化など各種事業を実施する。			

【担当課】農林水産課

No.	交付金対象事業名称	事業開始年度	事業終了年度	総合戦略の位置づけ			
7	スマート農業を活用した新規就農者確保と規模拡大による地域活性化対策事業	R2	R4	基本目標3【経済・産業】 産業振興を図り、持続可能な地域経済の好循環を実現する			
地域再生計画		計画開始年度	計画終了年度	事業内容			
スマート農業を活用した新規就農者確保と規模拡大による地域活性化対策事業		R2	R4	本事業では、新規就農者の確保に向け、東京等で開催される就農相談会に積極的に参加し、移住定住としごとの提供を合わせたワンストップ化のしくみを構築する。 また、農業研修生が自ら作業しながら研修、指導が受けられるよう、研修用ほ場の借り上げを行い、技術習得の支援を行う。			
事業計画		申請額		執行額		R2年度の実施状況(3月末)	
		事業費(千円)	交付金(千円)	事業費(千円)	交付金(千円)		
1	スマート農業を活用した新規就農者確保と規模拡大による地域活性化対策事業	7,000	3,500	6,357	3,178	ミニトマト生産農家のハウス内に環境モニタリング装置を設置した。気温、湿度、土壌水分、CO2などのモニタリングデータによる、生育状況調査や病害虫発生状況の確認を行った。	
重要業績評価指標(KPI)		最終目標値	R2年度目標値	R2年度実績値	目標達成状況(%)	検証(◎、○、△、×)	備考
1	施設野菜における新規就農者数	5人	1人	1人	100.0%	◎	
2	ミニトマト生産数量	33.9トン	10.9トン	△16.0トン	-146.8%	△	
3							
4							
KPI未達成の場合の理由				R3年度の事業計画			
KPI②について、ミニトマト生産数量が未達成(367トン→351トン)となった。 令和2年度においては、ミニトマト前半作は7月の長雨による生育不良での数量減や、後半作は夏期の猛暑の影響によるミニトマトの樹勢が弱く花数が減少したり花自体が高温で焼けてしまったりと着果数が減少したため数量減となった。				KPIの実績を踏まえ、ハウス内の栽培管理の対策が必要である。 ミニトマトの適正な生育の促すため、環境モニタリングで得た温度・土壌水分など栽培データの分析を仕組み強化する。 データ分析と同時に、IoTやAI技術を使った、自動かん水設備、自動巻き上げ装置、循環扇を導入し、適正な温度等の栽培管理ができるように技術実証していく。			

第2期琴浦町まち・ひと・くらし創生戦略 [概要]

第2期戦略のポイント

- ・日々のくらしの充実や経済の自律的發展により、まちの魅力を向上することが最も優れた人口減対策と考えます。
- ・第1期戦略の検証結果を踏まえ、町民との対話を起点に本町の特色を活かした5つのプロジェクトに重点を置きます。
- ・今ある施設を有効に活用し、施設数は減っても質を高めて、人口減少の中でも持続可能な仕組みに変えていきます。
- ・新たな技術（情報通信、人工知能、ロボットなど）の積極的な活用とSDGsの理念を盛り込みます。

「住んでよかったと誇れる」
 「帰って来たいと思える」
 「町外からも住んでみたいと思える」

ふるさとへ

第2期戦略では、町全体の人口目標は設けず、公民館単位となる9つの地区ごとに人口ビジョンをつくります。

町全体の人口ビジョン

地区ごとの人口ビジョン

- | | | |
|----|-----|----|
| 八橋 | 浦安 | 下郷 |
| 上郷 | 古布庄 | 赤碕 |
| 成美 | 安田 | 以西 |

ことうら回帰1%戦略

地区ごとの人口ビジョンを基に、人口減対策を自分たちのこととして課題に向き合います。持続可能な地域とするために必要な人口や仕事について各々の地区で対策を考え、実行することで流出した人とお金の1%を取り戻すことを目指します。

町民意見を起点にプロセスを重視

高校生や子育て中の女性など無作為抽出による町民で町の将来を話し合う「ことうら未来カフェ」を開き、町民同士の対話から具体的な施策につなげました。

目指す姿

5つのプロジェクトによる持続可能な地域社会の実現

子育て教育

安心して生み育てることができる環境を守り、ふるさとを誇りに思う教育をすすめる

○合計特殊出生率 1.8以上（R1～R5の平均値）

- ①妊娠・出産・子育てを支える環境づくり
- ②安心して働くための環境づくり
- ③「誰一人取り残さない」質の高い教育の実現
- ④ふるさとを誇りに思う教育の推進
- ⑤地域を支える人材の育成と環境整備

- 長期休業期間における児童クラブ事業の実施
- 1人1台の情報端末整備
- デジタル教材、教育用システムの導入
- フリースクールに対する授業料助成
- 学校現場の働き方改革の推進
- 鳥取中央育英高校・鳥取大学連携
- 未来人材育成塾への中学生派遣
- 熱中小学校への支援
- まなびタウンとうはく、図書館のリニューアル整備
- 民間資金の活用による東伯総合公園の再整備

健康活力

全世代が活躍する健康寿命日本一のまちを目指す

○介護を要する期間 男性0.5年短縮 女性0.5年短縮

- ①新時代の健康づくり
- ②運動・食生活改善・社会参加の推進

- AIを活用した自動応答による健康相談の実施
- 健康経営の推進
- トレーニングルームの充実（世代ニーズに対応した運動プログラムの開発）
- 子ども向けスポーツ教室の実施
- ヘルシーメニューの開発・提供
- アクティブシニア層に対する活躍の場の提供
- グリーンヘルスツーリズムの推進

経済産業

産業振興を図り、持続可能な地域経済の好循環を実現する

○町内企業への新規就職者数 1135人（R2～R6年の累計）

○農林水産業の新規就業者数 30人（R2～R6年度の累計）

- ①起業・創業の推進
- ②多様な働き方・雇用対策の推進
- ③琴浦ブランド化の推進と販路拡大
- ④地域内経済循環の促進
- ⑤農林水産業への未来技術活用と担い手、新規就業者の育成

- 起業に対する助成
- 空き家を活用したチャレンジショップに対する支援
- ワーケーション事業の実施
- コワーキングスペースの整備
- 和牛、養殖漁業に対する支援
- 企業同士のコラボ商品開発支援
- 地域経済循環調査による分析と対策
- スマート農業の推進
- 定年退職後の就農者に対する農業研修の実施

観光交流

人を地域の中に呼び込む観光を展開し、町産業全体の活性化につなげる

○観光入込客数 90万人（R6年末）

○観光分野における新規事業等での雇用創出数 10人（R2～R6年度の累計）

- ①道の駅を“核”として町内周遊を促進
- ②琴浦ブランドの再構築による情報発信の強化
- ③琴浦の恵みを活かした観光の展開

- 道の駅琴の浦、道の駅ポート赤碕の見直し
- 観光客の人の流れをデータ分析により見える化し、再施策化を実施
- ロゴマーク、キャッチコピーの新規作成による地域プロモーションの推進
- 古民家を活用した農家民泊事業
- 一向平キャンプ場のリニューアル整備

関係定着

暮らし続けることができるまち、そして選ばれるまちをつくる

○人口社会減数 200人以下（R2～R6年の累計）

○IJUターナー者数 750人（R2～R6年度の累計）

- ①暮らし続けることができる地域づくり
- ②関係人口の創出・拡大
- ③移住・定住の促進

- 地区ごとの人口ビジョンワークショップの実施
- 公民館と地域運営組織の連携
- 住民ドライバー活用による地域交通実証実験
- ふるさと住民票の発行
- ふるさと納税、企業版ふるさと納税の推進
- 琴浦町独自のIJUターナー者に対する奨学金返済支援制度の整備